

(参考様式5)

### 設備・備品等一覧表

サービス種類 ( )  
事業所名・施設名 ( )

部屋・設備の種類	設備基準上適合すべき項目についての状況	適合の可否
サービス提供上配慮すべき設備の概要  消火設備その他の非常災害に際して必要な設備		
備品の目録	備品の品名及び数量	適合の可否

- 備考 1 申請するサービス種類に関して、基準省令で定められた設備基準上適合すべき項目のうち、「居室面積等一覧表」に記載した項目以外の事項について記載してください。
- 2 必要に応じて写真等を添付し、その旨を併せて記載してください。
- 3 「適合の可否」の欄には、何も記載しないでください。

## 記入例

## 設備・備品等一覧表

サービス種類 ( (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 )  
 事業所名・施設名 ( グループホーム〇〇 )

部屋・設備の種類	設備基準上適合すべき項目についての状況	適合の可否
サービス提供上配慮すべき設備の概要  消火設備その他の非常災害に際して必要な設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所入り口の段差を解消するためにスロープを設置。</li> <li>・ 玄関、廊下、居間、風呂、便所には手すりを設置。高齢者が使いやすい高さを考慮。</li> <li>・ 各居室窓は乗り越えられないように手すりを設置。</li> <li>・ 各居室にナースコールを配備し、事務室で通報を一元管理。</li> <li>・ 包丁などの刃物類は専用の鍵付き棚で管理、風呂や台所洗剤は鍵付きの倉庫で保管し、万が一の事故を防ぐ。</li> <li>・ 1階、2階ともに風呂は機械浴槽を設置。ストレッチャーに寝たまま入浴可能。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粉末系消火器を計5か所に設置 (1階玄関、1階居間、1階廊下、2階居間、2階廊下)。</li> <li>・ 事務室に設置された自動通報装置により、緊急時には消防署に自動通報される体制を確保。</li> <li>・ 閉鎖型湿式スプリンクラー設置済み。</li> <li>・ 各居室、居間、事務室にはイオン化学式スポット型煙感知器設置 (計21か所)。</li> <li>・ 非常時に2階から避難する緩降機 (〇〇株式会社製緩降機) を2階ベランダに配備。</li> <li>・ 非常災害時に備え、非常食 (30人×5日分)、飲料水 (30人×5日分)、防災ラジオ2個、携帯用コンロ1個、懐中電灯5個備蓄。</li> </ul>	
備品の目録	備品の品名及び数量	適合の可否
※記述済みの物を除く  自動車  福祉用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車 (日産〇〇 8人乗り) 1台</li> <li>・ 車椅子 (無償貸与用) 2台</li> <li>・ 杖 (無償貸与用) 2本</li> </ul>	

- 備考1 申請するサービス種類に関して、基準省令で定められた設備基準上適合すべき項目のうち、「居室面積等一覧表」に記載した項目以外の事項について記載してください。
- 2 必要に応じて写真等を添付し、その旨を併せて記載してください。
- 3 「適合の可否」の欄には、何も記載しないでください。